

(学校用)

様式 A-1

平成27年6月20日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 富山県立 富山高等学校・高柳知子
2. 講師氏名: James Coates 博士
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成27年6月17日 (水) 14:20 ~ 16:10
5. 参加生徒: 2年生 28人 (合計 28人)
備考: (人文社会学科の生徒: 28名)
6. 講演題目:
(英文) An Australian anthropologist in Ikebukuro
(和文) 「池袋からカンガルー」
7. 講演概要:
事前に依頼していた、自己紹介、出身国の文化や教育制度、科学者になった動機と専門分野について概要という順序で講演をしていただいた。特に、講演のメインである在日中国人について半分以上の時間を割いていただいた。また、ご自身で日本語の解説を入れてくださり、生徒の理解が深まった。
8. 使用言語: 英語(70%)、日本語(30%)
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60分 質疑応答時間 (グループになったの意見交換・質疑応答) 50分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
視聴覚教室にて、パワーポイントを使用しての講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
研究者本人からの日本語説明
 - (4) 事前学習時使用教材 (事前学習を行った場合のみ)
プリント A4 で2枚を実施日の10日前に課題として配布し、講演数日前に回収、課題の実施状況を確認した。事前にパワーポイントの資料を配付し、単語などを調べるように伝えた。
10. 学校からの支給経費 (該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
なし
11. その他特筆すべき事項:
事前の対応を含め、とても真摯に対応していただいた。先生がとても話しやすい雰囲気を作ってください、生徒はとても楽しんで講義を聴いたり質問したりできた。分かりやすい英語で話してください、難しい専門用語は日本語も交え説明していただき、大変ありがたかった。